

平成28年2月24日

滝沢市長 柳 村 典 秀 様

滝沢市補助金等審議会

会長 齋 藤 俊 明

平成27年度実施補助金公募制度の審査について（答申）

本審議会は、平成27年7月16日付けで滝沢市長から諮問がありました「平成27年度実施補助金公募制度の審査について」のうち、個別申請補助金及び政策報告補助金に関し審査を行いましたので、別紙のとおり答申いたします。

滝沢市補助金等審議会

答 申

平成28年2月24日

滝沢市補助金等審議会

はじめに

本審議会は、平成27年7月16日付けで滝沢市長から諮問があった「平成27年度実施補助金公募制度の審査について」に基づいて、報告のあった公募補助金事業等申請書及び報告書（以下、「申請書等」。）の審査を行った。

審査の方法については、各事業の申請書等に基づいてあらかじめ本審議会委員が個々に評価を行ったのち、平成27年10月6日、平成27年11月5日及び平成27年12月10日に、個別申請補助金及び政策報告補助金に関して、委員による補助目的、現状と課題、効果などの聞き取りと合議による調整を図ったものである。

今回の答申においては、個別申請補助金19件及び政策報告補助金として報告を受けた事業36件中、国・県の補助制度を活用して実施する事業等を除いた14件について審査を行った上で、全体としての総括的な講評を行い、審査結果を答申するものである。

補助金は公益性が認められる活動支援を行政課題の解決のための手段として活用されているが、特定の申請者に固定され長期的な交付が見られ、本来の目的、必要性、効果、総合計画との整合性が十分に検証されないままに継続している傾向が見られる。

今年度においては、継続事業における活動目標値に対しての実施結果に重点を置いて審査したものである。

今後においても補助金の適正な見直しに向けた検討がより進められることを期待するものである。

平成28年2月24日

滝沢市補助金等審議会

会 長	齋 藤 俊 明
委 員	小 山 花 子
委 員	小 野 雅 章
委 員	高 橋 有 幸
委 員	鈴 木 修

1 総括

平成27年度の審査対象として申請又は報告のあったものは、個別申請補助金19件、政策報告補助金14件であった。その申請等内容についての審査が本審議会に委ねられたものである。

本答申においては、補助金の審査結果に加えて、公募補助金制度の改善項目として本審議会の意見を付した。

以下では、申請書等に基づき対象となる事業について担当課ヒアリングを実施しながら、多面的に評価したものである。しかしながら、全般的に事業効果等の資料が不足しており、検証には改善が必要と思われる。

審査を行った際に見受けられた事項で、今後改善を要する事項は次のとおりである。

(1) 申請書等の記載内容について

申請書等の記載内容については、事業実績が十分に記載されていない点や、事業を評価する為の指標の設定が不適切である等の課題が見受けられた。

補助金の公平かつ適切な審査のためにも事業の詳細、成果について明確に記載する必要がある。

(2) 継続事業について

継続して実施する事業は3年間で周期とし、再度申請又は報告が必要となる。今回審査対象となった事業では、個別申請補助金が19件のうち18件、政策報告補助金においては審査対象となった全14件がこれに該当した。

それらの一部事業において、担当課による成果の検証が不十分なものが見受けられた。ただ漫然と補助金を継続するのではなく、より合理的な補助方法、事業の抜本的な見直しの検討が必要である。

また、補助金の交付によって行政目的が達成されているかといった効果についての検証が十分ではないものが散見された。事業を適切に審査し、補助金交付を行う為にも、そういった資料を作成し申請書等へ添付すべきである。

加えて、滝沢市として対象事業の方向性を示す事業計画を策定した後、補助金を交付した方が効率的と思われる事案がいくつか見受けられたため、交付方法の仕組みの転換が必要である。

2 審査結果について

別紙1、2の審査一覧は、本審議会委員の審査に基づく個別申請補助金及び政策報告補助金における各事業の平均点数を示したものである。

平均点数と補助金の可否判断の関係については、以下の考え方で整理する。例年、本審議会では、個別申請補助金及び政策報告補助金において平均点数が50点以上のものについては、公益性、効果等が認められると判断している。今年度の申請事業においては、個別申請補助金が全19件、政策報告補助金では14件中9件がこれに該当した。しかし、総括においても述べたとおり、事業成果の検証、申請書等の記載内容が不十分であるものが多く見られる。限られた財源内で補助金を交付している事に留意し、より効果的な補助金交付のため改善が必要である。

なお、政策報告補助金においては、政策判断により実施されるものであり、本審議会においては一部見直しも含め採択せざるを得ないが、公益性、必要性、適格性、有効性など内部の検証が必要である。

また、個別申請補助金及び政策報告補助金における継続事業については、補助金交付終期の設定や交付団体の財務状況からの制限など定期的に見直しを進めることで、効率的かつ健全な行財政運営を実現すると考える。

3 滝沢市の補助金公募制度のあり方について

平成18年度の公募補助金制度の本格導入から9年が経過し、これまで申請又は報告を受けた補助金の再申請等が近年の主な審査対象となっている。

これは、補助金公募制度を活用した事業について一通り審査をし終え、本審議会当初の目的である公益性の高い補助事業への適正な補助金配分が達成できたものであると言える。今後も、審査を受けた事業については、漫然と補助金交付を継続していくのではなく、担当課が主体となり事業成果の検証を行い、住民のニーズに対応した事業内容の見直しを絶えず行っていく必要がある。また近年、地方自治体は厳しい財政状況の中での行政運営を強いられている。その為、今後も過去と同じように補助金を交付し続ける事は困難な状況になっていくことが予想される。そのような時代の変化に対応していく為にも、住民と行政が協力関係となった上で、事業内容の精査をきめ細やかに行い、最小の経費で最大の効果を発揮できるよう、住民主体で事業が展開されていく事を期待する。

こうした行政の取組により、補助金公募制度の効果が、滝沢市の掲げている「住民自治日本一」の一助として発揮されるものと思われる。

平成27年度滝沢市公募補助金一覧(個別申請補助金)

(単位:円)

申請事業名	申請者名・報告者名	担当課	平成28年度 申請 事業費	平成28年度 申請 補助金額	平成28年度 補助金割合	平成27年度 申請 事業費	平成27年度 申請 補助金額	平成27年度 補助金割合	平成26年度 事業費 (決算額)	平成26年度 補助金額 (決算額)	平成26年度 補助金割合	平均点 (総合)	審議会コメント
公益社団法人滝沢市シルバー人材センター補助事業	公益社団法人滝沢市シルバー人材センター	商工観光課	96,536,000	8,750,000	9.1%	90,191,800	7,280,000	8.1%	99,956,587	7,100,000	7.1%	59.5	・事業内容の成果を明らかにすべき。 ・市がセンターの事業のどこに必要性を感じて補助をしているかわかりにくい。 ・センターが存続している期間は補助を継続することとなり、運営費の補助というだけで、事業効果の判定が困難である。
商工業振興事業	滝沢市商工会	商工観光課	72,678,000	12,000,000	16.5%	74,535,000	12,000,000	16.1%	79,081,784	13,000,000	16.4%	54.5	・商工会に対する補助の必要性は認めるが、運営費の一部補助の形だと、組織が存続する間、一定の補助金を支給することとなり、事業の効果が曖昧となる。 ・事業所数が、漸減する中で、加入率の向上が計られている。経営改善事業への期待感は大いと思われるが、今後会員企業交流や大学との交流、連携の強化を期待したい。 ・市補助金と地域事業の関係を明示すべき。
滝沢市観光協会補助事業	滝沢市観光協会	商工観光課	20,220,000	13,794,000	68.2%	20,206,000	13,794,000	68.3%	21,579,653	13,294,000	61.6%	63.8	・市が協会に求める具体的成果、目的を明らかにすべき。 ・外部の人の声や新たな住民の声を活かすべき。
認定農業者協議会事業費補助事業	滝沢市認定農業者協議会	農林課	1,202,500	500,000	41.6%	1,505,000	500,000	33.2%	1,395,749	500,000	35.8%	50.8	・認定農業者の資質向上を図ることが何に繋がるのかが見えにくい。 ・地域農業の担い手である認定農業者が情報交換等の実施、相互に研さんすることは重要である。閉鎖的組織であるが、異業種との連携を図る等外との交流も必要と思われる。
滝沢市保護司協議会活動事業	滝沢市保護司協議会	地域福祉課	285,500	185,000	64.8%	285,500	185,000	64.8%	321,753	185,000	57.5%	55.8	・事業の成果、効果が不明。目標設定の根拠を示すべき。 ・保護司は目立たない活動であるが、安心な社会づくりに貢献している。その活動には、専門性も求められていて、定例研修会を開く意義は大いなものと思われる。
滝沢市民生児童委員連絡協議会研修活動	滝沢市民生児童委員連絡協議会	地域福祉課	10,330,400	1,672,000	16.2%	9,498,243	1,672,000	17.6%	9,477,412	5,645,700	59.6%	56.3	・自主財源を検討すべき。 ・民生委員は、住民に寄り添い安定、安心な社会実現に貢献している。日本の誇るべき制度となっている。補助金の目的、積算内容も明確である。
滝沢市社会福祉協議会補助事業	社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会	地域福祉課	35,801,000	33,731,000	94.2%	30,268,000	29,614,000	97.8%	39,605,757	36,478,925	92.1%	60.3	・目標設定の根拠、事業成果を示すべき。
滝沢市身体障害者会員拡大・交流事業	滝沢市身体障害者福祉協会	地域福祉課	657,500	175,000	26.6%	657,500	175,000	26.6%	698,693	175,000	25.0%	51.3	・事業成果を明らかにし、活動目標を検討すべき。
滝沢市手をつなぐ育成会活動事業	滝沢市手をつなぐ育成会	地域福祉課	153,700	53,000	34.5%	153,700	53,000	34.5%	161,000	46,100	28.6%	50.5	・事業の成果を明確にすべき。 ・障がい児や親にとって、互いに支え合う場であり、小さな会であっても当事者にとって大きな拠り所となっている。事業を着実に継続し、1人でも多く参加されるよう期待する。

申請事業名	申請者名・報告者名	担当課	平成28年度 申請 事業費	平成28年度 申請 補助金額	平成28年度 補助金割合	平成27年度 事業費	平成27年度 補助金額	平成27年度 補助金割合	平成26年度 事業費 (決算額)	平成26年度 補助金額 (決算額)	平成26年度 補助金割合	平均点 (総合)	審議会コメント
滝沢市母子寡婦福祉協会研修・交流促進事業	滝沢市母子寡婦福祉協会	児童福祉課	991,000	50,000	5.0%	1,031,000	90,000	8.7%	1,150,960	90,000	7.8%	50.5	・事業の成果を明確にすべき。 ・母子家庭の抱えている問題に向かい合い、社会の理解を深め会員を拡大することが望まれる。
滝沢ふるさと会補助事業	滝沢ふるさと会	企画政策課	970,000	450,000	46.4%	1,195,000	450,000	37.7%	1,190,530	500,000	42.0%	57.3	・事業実績が具体的に見えない。会員のニーズを調べる必要がある。
滝沢市小中学校文化体育連盟補助事業	滝沢市小中学校文化体育連盟	教育総務課	4,000,000	4,000,000	100.0%	4,000,000	4,000,000	100.0%	9,617,349	9,617,349	100.0%	63.0	・事業の成果を明らかにすべき。
公益財団法人滝沢市体育協会補助事業	公益財団法人滝沢市体育協会	スポーツ推進課	44,775,000	36,846,000	82.3%	44,036,000	36,233,000	82.3%	36,329,501	35,782,982	98.5%	60.0	・指定管理団体的な組織ではないかと思われるが、将来に渡って補助金を交付し続けることになるものである。その為、公益法人といえども収益部分を増やし、市からの補助を自ら減らす努力が必要と思われる。
滝沢市スポーツ少年団補助事業	滝沢市スポーツ少年団	スポーツ推進課	1,453,000	862,000	59.3%	1,739,000	862,000	49.6%	1,407,793	815,696	57.9%	59.8	・事業の成果を明らかにすべき。
滝沢市子ども会育成連合会補助事業	滝沢市子ども会育成連合会	生涯学習文化課	581,000	81,000	13.9%	640,600	81,000	12.6%	682,174	81,000	11.9%	61.3	・補助を行う意義、成果を明らかにすべき。 ・補助金が無くても、対応できるのではないか。
滝沢市少年団体指導員協議会補助事業	滝沢市少年団体指導員協議会	生涯学習文化課	144,000	34,000	23.6%	153,620	34,000	22.1%	146,720	34,000	23.2%	63.0	・同じような性質の団体の統廃合等を促す取組の必要がある、。
滝沢市青少年健全育成青少年少女のバス交流事業	滝沢市青少年育成市民会議	生涯学習文化課	524,000	140,000	26.7%	500,000	140,000	28.0%	513,839	140,000	27.2%	60.3	・事業成果を明らかにすべき。 ・収支予算の不足分を補う事業と見受けられる。
滝沢市地域婦人協議会補助事業	滝沢市地域婦人協議会	生涯学習文化課	305,700	95,000	31.1%	376,500	95,000	25.2%	395,520	95,000	24.0%	57.3	・事業成果が抽象的である。 ・収支予算の不足分を補う事業と見受けられる。
滝沢ユネスコ協会文化・交流事業	滝沢ユネスコ協会	生涯学習文化課	250,000	100,000	40.0%	80,000	—	—	—	—	—	59.3	・予算の積算、充当先が不明 ・収支予算の不足分を補う事業と見受けられる。

平成27年度滝沢市公募補助金一覧(政策報告補助金)

(単位:円)

申請事業名	担当課	平成28年度 報告 事業 費	平成28年度 報告 補助 金額	平成28年度 補助金割合	平成27年度 報告 事業 費	平成27年度 報告 補助 金額	平成27年度 補助金割合	平成26年度 事業 費 (決算額)	平成26年度 補助 金額 (決算額)	平成26年度 補助金割合	平均点 (総合)	審議会コメント
滝沢市中小企業振興資金利子補給費補助事業	商工観光課	8,500,000	8,500,000	100.0%	8,500,000	8,500,000	100.0%	8,600,000	8,600,000	100.0%	52.6	・中小企業の円滑な事業運営に欠かせないものとなっており、継続することが適当である。
滝沢市中小企業振興資金保証料補給費補助事業	商工観光課	5,000,000	5,000,000	100.0%	5,000,000	5,000,000	100.0%	5,077,047	5,077,047	100.0%	50.8	・中小企業の円滑な事業運営に欠かせないものとなっており、継続することが適当である。
滝沢市特産品開発事業	商工観光課	600,000	600,000	100.0%	600,000	600,000	100.0%	200,000	200,000	100.0%	51.2	・特産品の研究、開発後の市におけるフォローの道筋が見えない。 ・具体的成果が不明。 ・地域資源を活用した商品開発は地域振興にとって重要である。利用件数が少なく、周知が不十分と思われることと起業人材の育成が必要と思われる。
産学官共同研究事業補助金事業	企業振興課	3,200,000	1,600,000	50.0%	3,200,000	1,600,000	50.0%	3,200,000	1,600,000	50.0%	53.0	・産学共同研究を推進する事業であり、大学が立地する滝沢市の特性を生かしたものとして、今後も強化すべき。
滝沢市工場等設置奨励事業	企業振興課	150,000,000	1,500,000	1.0%	—	—	—	—	—	—	53.8	・他地域との差別化を図りながら推進すべき。
担い手支援育成補助事業	農林課	8,100,000	8,100,000	100.0%	8,100,000	8,100,000	100.0%	7,457,835	7,457,835	100.0%	50.0	・事業名が担い手育成となっているが、作付面積拡大、農業経営改善等といった事業名の方が適当ではないか。
災害に強い果樹経営支援補助事業	農林課	1,999,450	999,725	50.0%	1,999,450	999,725	50.0%	2,030,400	924,000	45.5%	46.0	・受益対象者が生産者かつ補助対象がネットだけでは事業が進まないのではないかと。 ・台風等の強風被害を防ぐ防風施設の整備は、本来果樹経営者自身が行うものと考えられるが、良質なりんご産地形成は地域にとっても重要であることから適当と考えることもできる。
滝沢市民間保育所補助事業	児童福祉課	1,972,687,000	33,709,000	1.7%	1,972,687,000	33,709,000	1.7%	2,307,943,117	37,965,400	1.6%	62.6	・法律に基づく措置と考えられる為、公募補助金の対象としている理由が不明。 ・市で民間に業務委託をし保育所の運営が行われていることを考えると、それに係る経費を助成することは必要であり、当然である。
私立幼稚園預かり保育補助事業	児童福祉課	4,160,000	4,160,000	100.0%	4,160,000	4,160,000	100.0%	5,600,000	5,600,000	100.0%	51.0	・必要とされる時間外預かり保育に補助金を支給することは、働きながら子育てする保護者の支援や幼稚園の運営に必要である。

申請事業名	担当課	平成28年度 報 告 費 事 業 費	平成28年度 報 告 費 補 助 金 額	平成28年度 補 助 金 割 合	平成27年度 事 業 費	平成27年度 補 助 金 額	平成27年度 補 助 金 割 合	平成26年度 事 業 費 (決 算 額)	平成26年度 補 助 金 額 (決 算 額)	平成26年度 補 助 金 割 合	平均点 (総合)	審議会コメント
滝沢市私道等補助事業	道路課	3,948,000	2,764,000	70.0%	143,000	100,000	69.9%	—	—	—	48.4	<ul style="list-style-type: none"> ・本に必要な私道であれば、市道昇格も考えるべきではないか。 ・地域の事情に照らして適当と思われるか、十分な検討が必要である。
私道除雪事業費補助事業	道路課	1,680,000	560,000	33.3%	1,500,000	500,000	33.3%	1,161,000	387,000	33.3%	49.6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が自主的に行うものであれば、経費は発生しないのではないか。 ・除雪機の貸し出し等での対応はできないか。 ・私道の除雪にあたって、本当に市が費用負担すべきかどうか十分に検討する必要がある。
滝沢市水洗便所改造資金利子補給事業	下水道課	236,000	80,000	33.9%	289,000	80,000	27.7%	197,579	81,000	41.0%	47.8	<ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生の向上と共に必要な政策である。
滝沢地域デザイン推進補助事業	地域づくり推進課	1,000,000	1,000,000	100.0%	1,000,000	1,000,000	100.0%	1,070,000	1,070,000	100.0%	58.2	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の確保を検討すべき。 ・事業の方向性、理念を詳細に示すべき。 ・補助を行う団体の採択基準についても当審議会の審議対象にできないか。 ・成果が不明。
火葬場使用料補助事業	市民課	5,180,000	5,180,000	100.0%	5,180,000	5,180,000	100.0%	5,770,000	5,770,000	100.0%	43.4	<ul style="list-style-type: none"> ・継続の事業であるが、このまま事業継続するのか。 ・他の自治体の住民より、大きな負担となっているのでないか。 ・火葬場使用料補助という形で、住民負担の軽減を図ることは適当と考える。